

アーカイブ Data Report

(2019年11月27日)

〒500-8813 岐阜県岐阜市明德町10番地 杉山ビル5F
E-mail: shikaku@npo-nak.com URL: https://npo-nak.com

画像で作成した初期の伝統的工芸品のデータベース（1989年）

～デジタルアーカイブ発展の時期のデジタルコンテンツと保管方法～

熊崎康文（日本アーカイブ協会）

デジタルアーカイブ構想以前

デジタルアーカイブの名称は月尾嘉男先生（東京大学教授：1994年当時）が提唱された。それ以前の1980年代から1990年代にかけて、文字情報と描画ソフトによる画像、写真やフィルムからスキャナで読み込んだ画像のデータベースが作られ始めた。1990年代後半からデジタルカメラが一般的に使われだした。1989年当時、写真をスキャンした画像を用いて作成された伝統的工芸品のデータベースを紹介する。

伝統的工芸品のデータベース

伝統的工芸品は当時（1989年）全国で通産大臣（当時）により166品目が指定されていた。これらを、一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会の許可を得て、同協会発行の『全国伝統的工芸品総覧』1988年度増補版を基礎資料としてデータベース化した。当初は、1989年、学習システム研究会で開発された「データベース学習ソフト」を用い、文字データのみで作成した。

(図1)

このデータベースでは項目ごとで入力されたキーワードで、各地の伝統的工芸品が検索できた。

続いて同年、市販のアプリケーションソフトを用い、現在のマルチウインドウに似た、カード型データベース形式で伝統的工芸品をデータベース化した。(図2)


このデータベースには、文字情報に加え、画像が同一画面に表示した。

カード型データベースの利点を利用し、図2のカードをメインに、表紙カード(図3)、伝統的工芸品の説明カード、種類メニューカード

名称	美濃焼		
読み	みのやき		
種類	陶磁器	主な製造地	多治見市、土岐市、瑞浪市、可児市、可児郡御嵩町、土岐郡笠原町
地方名	中部	都道府県名	岐阜
沿革・特徴	起源は平安時代にまでさかのぼることができる。安土桃山時代には茶道の隆盛に伴い、すぐれた茶陶が焼かれた。志野・織部・黄瀬戸・瀬戸黒などは有名。飲食器、花器、茶器など。		
企業数(社)	1,192	従業員数(人)	18,064
年生産額(億円)	32.96		
関連	陶磁器、平安時代、安土桃山時代、茶道、茶陶、志野、織部、黄瀬戸、瀬戸黒、飲食器、花器、茶器	見学施設など 施設連絡先 TEL	岐阜県陶磁資料館 0572-23-1191
	同県その他	飛騨春慶、一位一刀彫、美濃和紙	

図1 データベース学習ソフト版「伝統的工芸品データベース」

名称: **美濃焼**
よみ: **みのやき**



種類: 陶磁器

地方: 中部 →種類メニュー

都道府県: 岐阜 →地方メニュー

企業数: 1,192

従業員数: 18,064 (人)

年生産額: 32.96 (億円)

沿革・特徴
起源は平安時代にまでさかのぼることができる。安土桃山時代には茶道の隆盛(リキエイ)に伴い、すぐれた茶陶(チャウ)が焼かれた。志野・織部(オリハ)・黄瀬戸・瀬戸黒などは有名。
飲食器、花器、茶器など。

主な製造地: 多治見市、土岐市、瑞浪市、可児市、可児郡御嵩町、土岐郡笠原町

見学施設など: 岐阜県陶磁資料館

図2 マルチウインドウ版「伝統的工芸品データベース」(1989年)

(図4)，地方メニューカード，種類別地図メニューカード(図5)，地方別及び県別メニューカード(図6)，検索カード(図7)を作成した。

それぞれのカードには，カード上の指定されたアイコン(図や文字)から，目的のカードを同一画面上に呼び出せるリンクを付けた。



図4

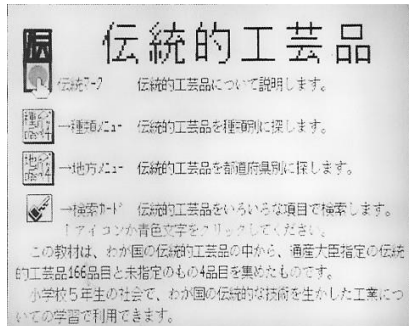


図3



図5

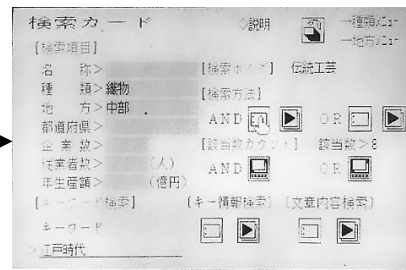
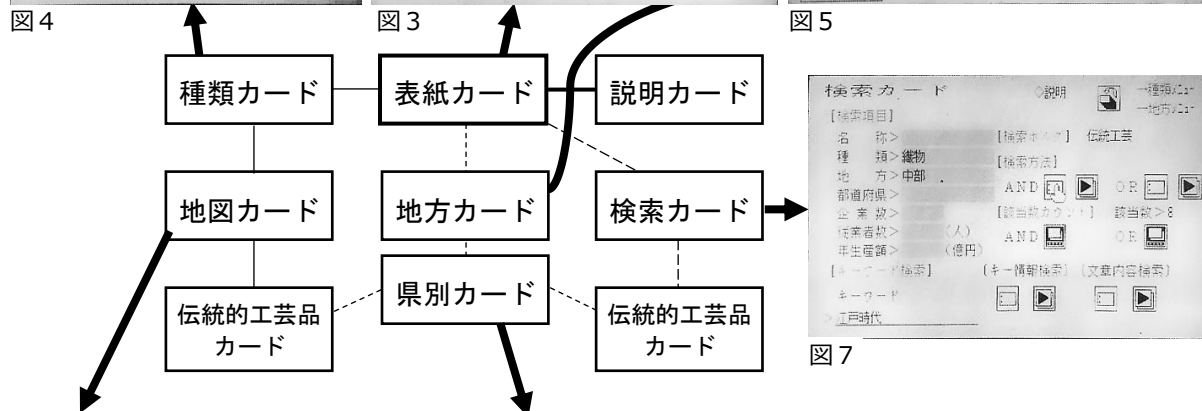


図7



図5



図6

伝統的工芸品データベースとデジタルアーカイブ

伝統的工芸品データベースでは，各カードのリンクの視点を「時代(年代)」，「人物(人の営み)」，「場所」，「内容」で分けた。また，サムネイルの作成を行った。これは，デジタルアーカイブの整備(メタデータの整備)には必須の情報である。(「デジタルアーカイブの構築・共有・活用ガイドライン」デジタルアーカイブの連携に関する関係省庁等連絡会・実務者協議会 2018.4)

伝統的工芸品は，昨今の生活様式の変化や安価な輸入品の増大による需要の低迷等の課題に直面し，伝統的技術・技法の継承が危機的状況にある。それゆえ，最新データでは全国で235品目(2019.11.20)に指定が増え，経済産業省による保護事業が行われている。

今後，伝統的工芸品に代表される伝統的な事物の振興につなげる，デジタルアーカイブによる活用のフィードバックに対応できる保管の開発に取り組み，報告する。